

- ・議案 **11** 件
- ・報告 **1** 件 (議決不要)

- ・議案 **6** 件
- ・報告 **1** 件

総務企画常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会総務企画分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／高橋 正浩
- ◆副委員長／荒川 一義
- ◆委員／山崎 智之 岡部 俊行  
儀貝 和典 垣内 武司 桂 撤男

現在ある市内の防犯灯

### 主な審議内容

#### 【議案第3号】

##### 平成29年度七尾市一般会計予算 ◆歳入・民生費国庫補助金について

- ㊦臨時福祉給付金について、平成29年度分として1,304人分となっている理由は。
- ㊧平成28年度当初、11,539人分を国に申請したが、平成27年度実績ベースで国が交付決定したことにより、1,304人分については、平成29年度にまわすことになった。
- ㊨平成29年度中に1,304人分の交付を受ければ、全ての方が給付を受けることができるということなのか。
- ㊩申請があれば交付する。

#### 【議案第3号】

##### 平成29年度七尾市一般会計予算 ◆ローカルベンチャー推進事業について

- ㊦移住定住コンシェルジュは資格が必要なのか。
- ㊧全国から公募して、移住定住をサポートしてもらうもの。
- ㊨常駐の勤務なのか、委託して非常勤での勤務なのか。
- ㊩基本は常勤で、TMOのなかで移住定住や企業のマッチングなども含めて、トータル的な役割を担ってもらう。
- ㊦市の職員としてか、それともTMOの社員なのか。
- ㊧経費的なものは、市の補助金として出して、TMOが雇用するもの。
- ㊨任期が決められているものなのか。
- ㊩交付金の対象期間として、4年間はある。その後は、自立できるようになるように、その4年間を有効にしていってほしいと考えている。

#### 【議案第3号】

##### 平成29年度七尾市一般会計予算 ◆防犯灯LED化について

- ㊦防犯灯のLED化は、平成29年度に市内全域で行うのか、それとも年次ごとで行うのか。
- ㊧平成29年度から4年間を計画している。市が1/2補助で町会が1/2の負担となるので、4年間で計画的に実施していただきたい。
- ㊨申請のあった町会から行うのか。
- ㊩基本的には申請のあったところから実施。平成29年度では3千万円弱ほどの予算だが、足りないときは追加予算を考えている。

#### 【議案第3号】

##### 平成29年度七尾市一般会計予算 ◆地域おこし協力隊について

- ㊦平成29年度で任期満了となる方はいるのか。
- ㊧平成29年度はいない。能登島地区にいる方は3年目、高階地区にいる方は2年目、中島地区は今年度募集する。
- ㊨任期満了になる地域おこし協力隊の方々の雇用については、ある程度考えているのか。
- ㊩今後の定住・就業については、来年度ベンチャー企業や産業振興課などとも相談して就業できるように検討していくということで、関係機関と連携をとって進めていく。

#### 【議案第14号】

##### 平成28年度七尾市一般会計補正予算(第9号) ◆地域づくり推進基金事業について

- ㊦交付に至るまでの手順はどのようになっているのか。
- ㊧現在、地域づくり協議会などで進めている事業や除雪事業、交通空白地域解消事業などに充てるということで、各担当課において地域づくり協議会の事務局と協議し、出てきたものに対して地域づくり支援課が中心となって手続きなどを行う。
- ㊨地域づくり協議会から出てきた要望や申請の窓口は、地域づくり支援課が行い、事業が妥当かどうかの審査は各担当課が行うのか。それをもって、再度、地域づくり支援課が申請を受けて、事業の可否を判断するのか。
- ㊩事業ごとに異なる。昨年度から地域づくり協議会へ交付する事業は、地域づくり支援課へ提出し、除雪や高齢者の事業については、担当課で申請していただく。その事業内容によって基金を使って、内容によって整理して、手続きの支援を地域づくり支援課で行う。
- ㊦基金の目的からいって地域の自主性を尊重して交付すべき。窓口の一本化にする考えはないのか。
- ㊧各事業の予算は各担当課で管理している。地域の方にとって交付申請は少し煩雑となるが、今後は一括交付金についてもどういったものさしで配分するのか、今はメニューを作った中で進めていく。そういったところで、地域の自主性を探りながら検討していきたい。まずは取りかかりとして、事業を明確にしていきたい。